

IV-55

小規模空港を核とした地域づくり戦略の提案

国土庁 正会員 丸山隆英 諸星一信 下田敦子 林寿史

1. はじめに

我が国の航空輸送は、大都市空港能力の制約もあり、大型航空機を利用した定期輸送が中心である。一方欧米先進国には、これ以外にジェネラルアビエーションの分野が確立しており、ビジネスに、スポーツに広く利用されている。また、ジェネラルアビエーションに対応した空港の周辺への関連企業（社用機を業務に活用している企業、航空関連企業等）郡が立地したり、手軽に高速交通機関が利用できることが地域の魅力を高め、地域活性化に結びついていることが多い。最近では我が国においても、様々な社会活動の変化から、ジェネラルアビエーションの分野が航空活動の中で注目をあびてきており、また、空港を活用した広域的な地域の活性化を図ることも重要になってきている。

こうした状況から、小規模空港の利用の展望と課題について、全国的観点と圏域整備の観点から、小規模空港を核とした地域づくり戦略を検討した。

＊）ジェネラルアビエーションの定義＝民間航空活動全体から、定期航空やコミュート航空を除いたもの；
ビジネス航空（社用航空）、スポーツ航空（グライダーやパラセール等）等、主として小型の航空機を用いて行われる航空活動。

2. 全国的観点からの検討

(1)概要

我が国の小規模空港を取り巻く状況と、利用者の空港および周辺整備への多様な要望を把握するとともに、海外・国内の事例分析を行った上で、小規模空港を母都市の規模や空港と都市の機能分担関係から分類し、この分類に沿って地域活性化方策について取りまとめた。

(2)小規模空港の利用の展望と課題

小規模空港の利用の展望と課題を把握するため、小型飛行機の所有者、企業、地方自治体を対象としてアンケート調査を実施した。結果の概要は以下のとおりである。

- ①定置場、駐機場等の施設の不足が顕著であり、こうした施設整備の促進がジェネラルアビエーションを活性化させる要因となる。また、ジェネラルアビエーション用サービス施設への要望も高い。
- ②発着枠、運用時間等、空港の運用に関する要望、大都市空港への乗り入れ希望が多い。
- ③空港と周辺地域には、ホテル、展示施設、情報提供施設等をはじめとして多様な施設が望まれている。

国内外の事例収集調査からは、海外事例では国内事例に比較して空港と地域との関係が緊密であり、空港周辺の諸機能集積度も高いことが示された。

(3)小規模空港を活用した地域活性化方策

これまでの検討を踏まえ、空港と母都市との機能分担関係や母都市の規模から小規模空港を分類し、類型に即した形で地域活性化方策を提言した。

今後の我が国における小規模空港を活用した地域づくりにおいては、空港と地域の結びつきの強化が必要であり、このためのPR、合意形成手法の検討等に取り組む必要がある。また、ジェネラルアビエーション全体の活性化のため、駐機場、整備施設や専用ラウンジ等の施設整備を図るとともに、空港間のネットワークを充実させる必要がある。さらに、空港やその周辺には多様な施設・機能が望まれることから、周辺地域

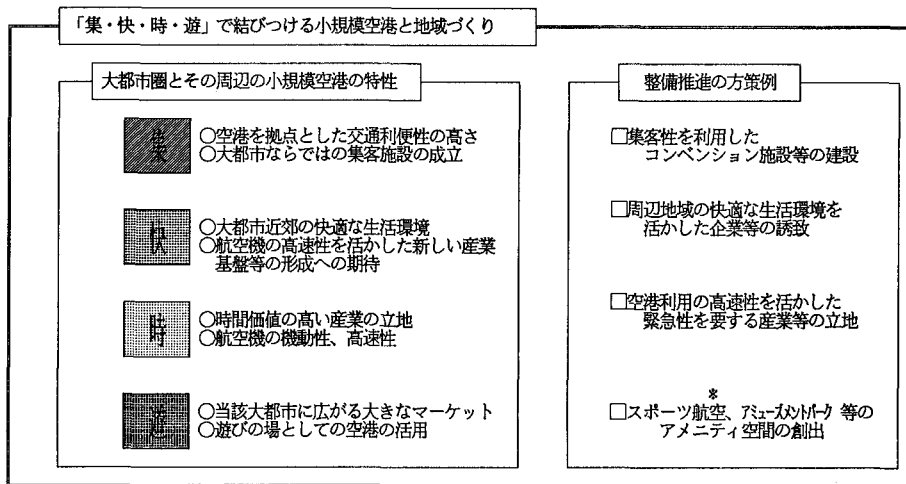
を含めた計画的開発、利用、あるいは再開発が今後さらに重要になるものと思われる。

3. 圏域整備の観点からの検討

(1) 大都市圏における小規模空港を活用した地域づくり

大都市圏における小規模空港は、騒音問題の回避や用地取得の容易さ等より、一般に大都市の周辺地域に設置されるが、当該地域においては、既に都市交通網の整備がなされている場合が多いことから、空港利用者が比較的容易に都市内各所への移動を行えることが特長である。また、地域住民及び当該大都市地域全体に広がる大きなマーケットを抱えていることから、空港の交通手段としての利用だけでなく、空港及び周辺空間を活用したプレイスポットとしての需要も考えられる。

このような特長を活かした、大都市圏における小規模空港を活用した地域づくりのポイントを図3-1に示す。



*スポーツ航空を検討するには、空域等の問題から、その他の航空活動との共存が困難なもの（ハンググライダー等）があるので、その種類や運用形態、立地場所に配慮する必要がある。

図3-1 大都市圏における小規模空港を活用した地域づくりのポイント

(2) 今後の推進方策

今後、大都市圏周辺における小規模空港整備と周辺地域づくりにあたっては、空港と地域の関連性や整備方策・施設メニューについて個々に分析し、施設整備や周辺地域づくりの可能性を広く検討するとともに、本調査で検討したジェネラルアビエーション利用に加え、定期航空や通勤航空の運行形態等を考慮し、共存方策を検討していくことも必要である。

4. おわりに

今後の小規模空港を活用した地域活性化のための計画は、小型航空機のもつ機動性、プライベート性等を活かせる「柔軟性のある小規模空港」の整備を推進するとともに、このようないつでもどこへでも行けるジェネラルアビエーションを中心とした小規模空港のネットワークを形成し、さらに小規模空港と地域との結びつきを強化する方策づくりに役立てることが必要である。